平成 22 年 2 月 4 日

各　位

会 社 名　株式会社フジ･メディア･ホールディングス
代表者名　代表取締役社長　　豊 田　皓
（コード番号　4676　東証第一部）
問合せ先　執行役員財経局長　　羽 原　毅
（ＴＥＬ．０３－３５７０－８０００）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 11 月 4 日に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1.業績予想の修正

(1)平成 22 年 3 月期通期　連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	581,000	6,600	9,800	5,400	2,344 円 67 銭
今回修正予想（B）	578,100	3,700	6,200	3,500	1,519 円 69 銭
増減額（B－A）	△2,900	△2,900	△3,600	△1,900	
増減率（%）	△ 0.5	△ 43.9	△ 36.7	△ 35.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	563,320	19,830	22,365	16,567	7,193 円 40 銭

(2)修正の理由

放送事業におけるフジテレビの業績は、スポットセールスが第３四半期に入り、食品、流通･小売、通信などの業種で前年同期を上回る出稿があり回復の兆しがみえましたが、消費低迷による DVD 販売の落ち込みや、一部放送設備の早期稼動による減価償却費の増加などもあり、通期売上高は前回予想値を上回るものの利益はほぼ前回予想値並みとなる見通しです。

一方で、映像音楽事業は DVD、CD の販売不振で、生活情報事業はカタログ通販の伸び悩みで、広告事業はスポンサーからの出稿減で、その他事業は出版関連での雑誌販売・広告の低迷などで、それぞれ一段と厳しい状況が見込まれております。

その結果、通期連結業績予想につきましては、売上高 5,781 億円、営業利益 37 億円、経常利益 62 億円、当期純利益 35 億円に下方修正いたします。

２.配当予想の修正

(1)修正の内容

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末	期　末	年　間
前回発表予想 (平成21年11月4日発表)		未定	未定
今回修正予想		400円00銭	1,200円00銭
当期実績	800円00銭		
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	1,800円00銭	1,800円00銭	3,600円00銭

(2)修正の理由

当社は、剰余金の配当については、連結配当性向 40%を目安とし、あわせて当該決算期の収益に関する諸要素や将来の事業展開のために必要な投資額等を総合的に勘案して、配当金額を決定することとしております。

平成22年3月期の期末配当予想につきましては、昨年11月4日時点では、通期業績見通しが不透明であることから未定とさせていただきました。上記のように通期連結業績予想を修正いたしましたが、財務状況、株主還元等を勘案して期末配当予想を1株当たり400円に修正いたします。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上